

第217回 全経簿記検定試験 上級 一財務会計一

模範解答

模範解答・予想配点・解説等は、学校法人高橋学園が独自の見解によって作成しており、検定試験実施機関における本試験の解答並びに出題の意図を保証するものではありません。なお、予告なしにその内容を変更する場合がございます。ご理解いただいたうえで、ご利用ください。

問題 1〔予想配点：各⑤点，合計 50 点〕

	正誤	理 由
1.	×	固定資産は、有形固定資産、無形固定資産及び投資その他の資産に区分しなければならない。
2.	×	満期保有目的の外貨建債券については、決算時の為替相場による円換算額を付する。
3.	×	共用資産に配分される減損損失が、共用資産の帳簿価額と正味売却価額との差額を超過することが明らかな場合には、当該超過額を合理的な基準により配分する。
4.	○	
5.	○	
6.	○	
7.	×	新株予約権は、貸借対照表の純資産の部の株主資本以外の項目として表示する。
8.	○	
9.	×	数理計算上の差異は、原則として各期の発生額について、平均残存勤務期間以内の一定の年数で按分した額を每期費用処理する。
10.	○	

問題 2〔予想配点：合計 26 点〕

問 1〔採点基準：各 ③点 × 4 か所 = 12 点〕

ア	再調達原価	イ	トレーディング目的	ウ	時価
エ	当期の損益				

問 2〔採点基準：③点〕

継続して適用すること

問 3〔採点基準：③点〕

同基準は，取得原価の本質は <u>将来の収益を生み出すという意味においての有用な原価，</u> <u>すなわち回収可能な原価</u> であると考えている。
--

問題 3〔予想配点：合計 24 点〕

問 1〔採点基準：各 ③点 × 2 か所 = 16 点〕

(1)	有形固定資産の除去費用が，当該有形固定資産の <u>使用に応じて各期に適切な形で</u> <u>費用配分される点</u> で両会計処理は共通している。
(2)	引当金処理は，有形固定資産の <u>除去に必要な金額が貸借対照表に計上されないた</u> <u>め，資産除去債務の負債計上が不十分である</u> という問題点を有している。

問 2〔採点基準：③点〕

有形固定資産の除去費用は， <u>除去時に不可避免的に生じる支出であるため付随費用と同様に考えられる。</u> よって，当該有形固定資産の帳簿価額に加える。
--